

## 香川県の雇用情勢（令和7年11月分）

- 11月の有効求人倍率（季調値） **1.36倍** （前月差 ▲0.05 ポイント）
- 正社員の有効求人倍率（原数値） **1.22倍** （前年同月差 ▲0.06 ポイント）
- 雇用情勢判断「求人が求職を上回って推移しているものの、このところ持ち直しの動きに弱さがみられる。今後も物価上昇等が雇用に与える影響に留意する必要がある。」

## 1 求人倍率

- 有効求人倍率(季調値)は、前月より0.05 ポイント低下。172か月連続で1倍台(全国第6位、全国1.18倍)
- 正社員の有効求人倍率(原数値)は、前年同月より0.06 ポイント低下(全国第12位、全国1.02倍)

年 月	7年6月	7月	8月	9月	10月	11月
有効求人倍率	1.48	1.49	1.44	1.44	1.41	<b>1.36</b>
正社員有効求人倍率	1.24	1.21	1.22	1.23	1.22	<b>1.22</b>

(注) 1. 有効求人倍率(季調値)の季節調整法は、センサス局法Ⅱ(X-12-ARIMA)による。

## 2 雇用情勢判断

- 判断を下方修正

変更した月	変更した内容	判断方向
令和7年11月	求人が求職を上回って推移しているものの、このところ持ち直しの動きに弱さがみられる。今後も物価上昇等が雇用に与える影響に留意する必要がある。	下方修正
令和6年5月	求人が求職を上回って推移しており、緩やかに持ち直しているものの、今後も物価上昇等が雇用に与える影響に留意する必要がある。	上方修正
令和5年10月	求人が求職を上回って推移しているものの、このところ持ち直しの動きに弱さがみられる。物価上昇等が雇用に与える影響に留意する必要がある。	下方修正
令和4年9月	持ち直している。	据え置き

## 3 新規求人

- 新規求人(原数値)は、6,854人(前年同月比 13.2%減) 4か月連続の減少  
増加した主な産業は、学術研究、専門・技術サービス業、建設業、電気・ガス・熱供給・水道業 等  
減少した主な産業は、医療、福祉、卸売業、小売業、宿泊業、飲食サービス業 等

年 月	7年6月	7月	8月	9月	10月	11月
前年同月比(%)	1.6	2.2	▲2.9	▲0.8	▲1.5	<b>▲13.2</b>

## 4 新規求職

- 新規求職(原数値)は、2,784人(前年同月比 2.7%減) 4か月連続の減少

年 月	7年6月	7月	8月	9月	10月	11月
前年同月比(%)	0.6	0.4	▲0.8	▲2.9	▲0.1	<b>▲2.7</b>

※令和3年9月以降の数値より、オンライン上で求職登録した求職者が含まれている。